

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 11 月 8 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

	<p>【施設名称】 真庭バイオエタノール実証プラント</p>
	<p>【事業主体】 三井造船(株)</p>
	<p>【所在地】 岡山県真庭市中原 324-10 真庭産業団地内 事業推進団体：三井造船 (Tel086-233-4131)</p>
	<p>【運転開始年】 平成 17 年 4 月</p>
原材料	製材くず、間伐材
生産物（種類）	無水エタノール
利用方法	リグニン：製材所燃料
導入目的・経緯	NEDO 技術開発機構との共同研究として真庭地区における未利用林産資源を主原料としてエタノールを製造する技術を実証する目的で作られた。
設備仕様	エタノール 250kg/日（無水エタノール）
稼働状況	年間 120 日程度、10h / 日 日処理量 最大 2 トン/日(原料)
経済性関連データ	初期投資額：約 4 億円（国庫補助： %、県補助： %、市補助：約 %、残り自己負担）
導入効果	木質バイオマス資源を貯蔵運搬が容易なエタノール生産技術の効率的プロセスと商業設備としてのコストの低減化を確立し実用化を目指している。
運営上の課題	収率の向上
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック 画像： http://www.net626.co.jp/maniwa_baio/index.html